



公益ブログの今がわかる ～ 事例紹介 ～

情報グループ CANPANチーム 町井 則雄

1.インターネットの現在とこれから

インターネットの今を知るための三つのキーワード

1.Web2.0

2.ロングテイル

3.ブログとSNS

2.キーワードその1

Web2.0とは?

ティム・オライリー氏が定義した「概念」

1.ユーザーの手による情報の自由な整理

2.リッチなユーザー体験

3.貢献者としてのユーザー

4.ロングテイル

5.ユーザ参加型コンテンツ

6.分散性

7.根本的な信頼

CANPAN

インターネットが真の社会インフラとして通用する時代の到来

2.Web2.0 参考事例 (GoogleMapsとはてなMap)

GoogleMapsで世界旅行

<http://maps.google.com/>

<http://maps.google.com/>

<http://maps.google.com/>

<http://maps.google.com/>

<http://maps.google.com/>

はてなMap

<http://maps.google.com/>

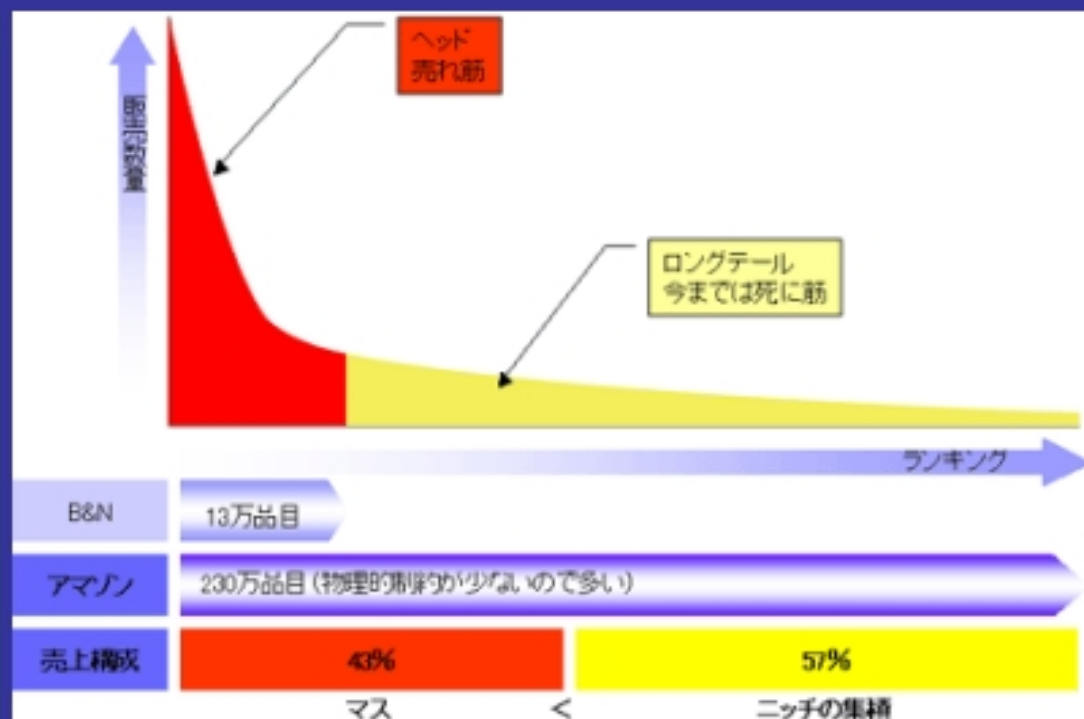
株式会社はてな自体は地図機能を持っていないが、**GoogleMaps**を自社のシステムに取り込んでサービスを展開させている。

3.キーワードその2

ロングテイルとは？

主力商品以外で稼ぐ新ビジネスモデル

従来の市場法則、「2割の商品が売上の8割を稼ぐ(2:8の法則)」といった法則の逆で、8割の側を顧客としたサービスやビジネス。有名な事例が、Google Adsenseの大手企業しか顧客になることが無かった広告業界で個人までを顧客とするサービスの提供や、Amazonの本の売り上げである。



<参考> 富士通総研

4.キーワードその3

SNSとブログとは

掲示板にとって代わる
のコミュニケーションツ

SNS=Social Networking Site

参加者が互いに友人を紹介しあって、新たな友人関係を広げることを目的に開設されたコミュニティ型Webサイト。日本では「mixi(ミクシィ)」が有名。2006年7月で登録者500万人を突破。公開株は上限の155万円になると言われている。

ブログ(**Blog**) = ウェブログ

個人や数人のグループで運営され、日々更新される日記的な**Web**サイトの総称。

CANPANブログのおすすめ利用法 その1

個人の日記というよりも、**CMS**(コンテンツマネジメントシステム)として優れている点にフォーカスすることで、団体の周知用としてとても役立つツールとなる。特に時系列にページが自動生成されたり、他のサイトの記事との連携機能(トラックバック)、コメント機能などはコミュニケーションツールとして非常に有効である。

5. 公益ブログの現状

自分の団体のホームページを作ってみたけれど・・・

1.人が来てくれない

2.更新がとてつもない

3.維持費が高い

独自ドメインで信頼性を確保する時代はすでに過去のものとなりつつある

そこで

Web2.0

1.無料

2.更新が簡単

3.注目度高い

4.信頼性を確保

それが
ブログ

楽天、Yahoo!、ライブドアなどの有名サイトのブログサービスで情報発信する団体が増加

5. 公益ブログの現状

情報発信ツールをブログにした効果

1.顔の見える団体へと変化

2.圧倒的な情報発信力の向上 月イチ更新から毎日更新へ

3.ネットワーク構築のきっかけ

4.とにかく維持経費が安い(ほとんどゼロ)

5.ホームページのメンテに使っていた時間を他の業務に

5.ヒット数(ビジット数)が著しく増えた

6. 「CANPANブログ」の特徴

とにかく素性がいい

「誰かのために何かしたい」「日本を今より元気にしたい」というスピリットのフィルター

興味の無い1000万人よりも興味を持っている濃くて熱い30万人に向けてメッセージを発

1. 読んでいて共感(感動)

2. 同

3. 周

4. 団

5. 眺めているた

6. 原則として実

7. 著作権は全面

Web2.0

ることか人アイタ人となるようなCANPAN世界を皆さんのブログ一つ一つが構築していく

6.CANPANブログ開設のメリット

システム関連

1. **Google**と相性がいい → 情報発信力・注目度アップ
2. 広告が出ない → マイホームページ的使い方ができる
3. 各種のファイルがアップできるのでストレージとして使用可能
4. 他の**CANPAN**機能との連携でピジット数アップ
5. 自由にデザインできる → マイホームページ的使い方ができる

7.事例紹介

[ゆとりすと](#)

[自由自在](#)

[EOLブログネット](#)

[松下英樹'sブログ](#)

[佐多岬ウォータージュニア](#)

[海洋政策研究財団のブログ](#)

[花巻市民活動支援センター](#)

[渡良瀬エコビレッジプロジェクト](#)

[若手社会起業家をサポート・edge公式ブログ](#)

[NISVA・シニアのための草の根国際協力\(Blog\)](#)

8.CANPANがWeb2.0を目指すということ

Web2.0

CANPANのコンセプトそのもの

人々は『善』だという前提から始めるんだ。
『善と善の結び付き』もまた『善』のはずだ。

ピエール・オミディアー(eベイ創始者)